はりま病院広報誌

さらん

第２８号
2018年1月 発行
編集発行
特定医療法人社団仙齢会
はりま病院 広報委員会

平成30年 新年のごあいさつ

理事長　荒尾　潤

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年中、仙齢会に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして心より御礼申し上げます。

さて、はりま病院が土山に移転し、はや６年半が経過致しました。移転間もない頃は周辺には何もなく静かな場所でしたが、今では商業施設もでき随分と賑やかになりました。来院される患者さまも増え、医療従事者の増員も必要となりました。我々民間病院にとりまして医師、看護師の確保が非常に困難な状況は続いておりますが、幸い昨年は３名の内科医が入職し毎日内科外来３診体制が取れるようになり、また病棟看護師も増員でき７対１看護基準を取得することができました。今年はさらに充実した医療を提供できますよう一層努力してまいります。また系列の太子福祉会では今春、加古川市尾上町にキラリ認定こども園、揖保郡太子町にカレナ認定こども園の２園を新規開業致します。我々にとりましては初めての事業ではございますが、乳幼児をお抱えのお母様方が安心して働くことができるよう安心安全で幼児教育も充実させたこども園を目指し、今年４月オープンに向け現在準備中です。

今後ともさらなるご指導、ご鞭漣をどうぞよろしくお願い申しあげます。

それでは、平成30年が皆さまにとりまして、良い年になりますことをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

院長　柏木　亮一

あけましておめでとうございます。

はりま病院が播磨町に移転し、今年１月で６年半となります。あらためて、はりま病院が何をめざしているのかをご紹介します。

① 地域に貢献します。小回りの利く病院として駅前にある利便性、小規模ゆえの敷居の低さ、融通性を発揮していきます。

② 患者様の立場にたった良質な医療を提供します。患者様それぞれの多様性を考慮し適切な治療法を選択していく、いわばオーダーメイドの医療をめざします。

③ 専門的で安全な医療を提供します。安全は起こりうるリスクを認識、評価し回避していくことから生まれると考えます。

今後も「ほんまもんの医療をめざして」、地域に必要とされる病院でありたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

看護部長　倉持　恭子

新年あけましておめでとうございます。

新しい年が始まりました。早いもので、新病院として移転し７年目を迎える事が出来ました。「地域の人たちの健康を守り、地域の医療機関として貢献する」を念頭に職員一同力を合わせて邁進してまいりました。

今では、播磨町の病院として位置づけられ、少しは貢献出来ているのではないかと思いますが、皆様はどのように感じられますか？　少しはお役に立てているのでしょうか？

当院看護部は100名のスタッフが居ます。ひとり一人、それぞれいろんな事情や悩みを抱えながらも、患者さんのためなら・・・と必死で力を貸してくれるステキなスタッフ達ばかりです。お正月も何人ものスタッフが出勤し、病院と患者さんを守ってくれました。

そんなスタッフ達は私の誇りであり一番の宝です。

今年もまた一丸となって患者さんの為にすばらしい看護をさせて頂きます。

看護部を代表しまして改めてごあいさつを申しあげます。

「本年もどうぞよろしくお願いいたします。」

事務部長　橘　敦司

あけましておめでとうございます。

旧年中は皆様の温かいご指導、ご支援を賜り誠にありがとうございました。

はりま病院は「地域の病院」を合言葉に、外来・入院・人間ドック・健診などを通じ、より一層地域のお役にたてる病院を目指しています。

まだまだ至らぬ点もございますが、皆様のご助言を真摯に受け止め精進する所存です。

今年は診療報酬改定の年です。国の政策により２年毎に改定されますが、今回は介護保険と同時改定ということで、医療・介護共に大きな転換点になるかもしれません。それに対応しながら、皆様に安心してお過ごしいただけるように、医療を通じお手伝いさせていただきます。

今年一年もよろしくお願いいたします。

新人職員紹介

事務員　**豊田 裕子**（とよだ ゆうこ）

９月よりはりま病院の医事課で勤務させていただいております豊田です。
長年医療事務の仕事に携わってきて、患者様にとっても病院にとっても、非常に責任のある仕事だと常に心に留めて仕事をしています。でも時々ボーっとしている時もありますので、その時は叱咤激励をよろしくお願いします。

作業療法士　**玉置 顕**（たまき あきら）

８月21日よりリハビリテーション課で勤務させて頂いております。作業療法士の玉置顕です。新しい環境で慣れない事が多く迷惑をかける事が多いですが、周りのスタッフに日々助けられ業務に取り組んでおります。プライベートでは釣りやツーリング等広く浅く色々やっています。いち早くはりま病院の戦力となれるよう頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

看護師　**丸山 千里**（まるやま ちさと）

９月より人間ドックに配属となりました。丸山千里です。以前は外来での勤務を経験した後、１年半程のブランクを経ての再就職となります。縁がありドック室での勤務となり、環境の変化による緊張と不安がありますが、スタッフの皆様の温かいフォロー、丁寧にご指導を頂いて働くことができています。思いやりと笑顔をたやさずに頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

薬剤師　**東海 千弦**（とうかい ちづる）

９月より薬剤課で勤務しています東海です。環境も変わり慣れない事がまだまだありますが、スタッフの親切な指導のもと業務に取り組んでいます。休日はおいしい物を食べたり、特にパンが大好きなのでパン屋巡りをしたり、ストレス発散を兼ね、手ごねでパンを焼いたりしています。早く慣れ、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

調理師　**梶原 睦美**（かじはら むつみ）

10月からはりま病院栄養課で調理師としてお世話になっております梶原です。以前は10年間小学校の調理師として大勢の子供達の給食を作っていました。学校とは別の難しさを実感し奮闘の日々ですが、楽しみにしていただける美味しい食事を提供できる様に真心込めて作っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

年男年女の抱負

昨年は社会人２年目として、はりま病院の雰囲気にもなじみ、仕事の流れも把握できるようになってきたと感じました。今年も先輩方にご指導頂き、できる検査業務を増やしていきたいと思っています。今まで以上に技術を磨いて、今年も精一杯頑張ります。
戌年ということで、家で飼っている犬を昨年以上に可愛がりたいと思います。　**唐津　明日香**

「年男の抱負とは」と仕事面から考えてみますと、当院に勤務する様になって早４年が経ってしまいましたが、入職当時を思い出すと当院のルールになかなか慣れず悔しい思いをした事が思い出されます。これまで同僚とも良い関係性で来られたと自負しておりますが、本年当部署では各自役割や業務に対するスタンスの面でも新しく変わる年になりそうですので、これまで以上に四苦八苦する事でしょう。これからも新しいものを取り入れるスキルアップを期待される部署である事を念頭に、向上心を持って互いに成長が出来ればと思っております。　**大條　輝夫**

新年あけましておめでとうございます。
今年は年女という事で、抱負を聞かれました。昨年から少しずつ新しい事（骨粗鬆症リエゾンチームメンバー、外来化学療法メンバーなどなど）に一歩一歩踏み出し始めました。今年はその新しい事を充実させる為に、学会への積極的な参加や、苦手な本も沢山読んで少しでも身につけていけるようにしていきたいと思います。皆様にご迷惑をおかけする事もあると思いますがよろしくお願いします。　**安倍　良美**

クリスマスコンサート

平成29年12月16日(土)に１階のロビーで毎年恒例となっているクリスマスコンサートを実施いたしました。ソプラノ・クラリネットやアルト・クラリネットなどいろいろなクラリネットの音色に入院患者様やご家族様が足を止めて聞き入られていました。

イルミネーション

平成29年11月22日（水）より土山駅南のロータリーでイルミネーションが点灯しています。今年は播磨町のマスコットキャラクターである「いせきくん」と「やよいちゃん」がデザインされています。
平成30年1月19日まで点灯しており、病院からも見ることができますよ♪

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
昨年末からノロウイルスなどが原因の感染性胃腸炎が流行しています。帰宅時・トイレの後・調理の前後・食事前の手洗い徹底や、食品の十分な加熱などでウイルスに感染しないように気をつけましょう。　岩田